職域交流会

日時：令和５年９月６日　１８:３０～
場所：大分市府内町　大分センチュリーホテル「桜の間」

令和５年度「職域交流会」が４年振りに開催されました。
大分支部が、大分支部に属する職域企業の他、大分市内に７つある職域支部に声をかけて毎年実施していましたが、新型コロナの影響で３年完中断してきました。
本会は現役バリバリのサラリーマン会員が集まって親睦を深めます。
同じ大分市内で勤務していても職場の違う同窓生との交流の機会は少なく、開催を楽しみにしている会員も多数です。
本年度は１９の組織から６１名が参加しました。
又、今年度は３組織が新規に参加されました。
参加組織（簡略表記）
・職域支部：大分銀行、豊和銀行、大分合同新聞社、大分大学、ジェイリース
・職域企業：大分支部、大分朝日放送、オーイーシー、大分カード、大分交通、
大分信用金庫、大分トヨタ自動車、大分放送、佐伯建設、大宣、
鶴崎海陸運輸、テレビ大分、豊後企画集団、宮崎銀行大分支店

交流会は阿部通正事務局次長（大２６）によって進められた。
初めに髙野支部長（大３４）から交流会の意義等に触れた主催者挨拶、続いて御来賓の三浦洋一四極会会長（大２４）から簡潔なご祝辞を頂いた。
乾杯の音頭は職域企業を代表して大分銀行取締役で職域支部長平川浩行さんが執り行いました。
懇親会は、世代の近い人が同席になるように配された９つのテーブルに分かれて進められた。同じテーブルには同一職場の会員はいないように配席し、若い会員ほど初対面の人が多く、方々で名刺交換する姿も見られた。時間の経過と共に寛いだ雰囲気になり、談笑の輪が広がった。

終盤になり、各組織の PR タイムでは、それぞれ代表が壇上に立って自己紹介や業務の案内、職場四極会の活動状況、四極会員としての抱負など自由にスピーチした。２分の制限時間を超過してしゃべる人、どんぴしゃり 120 秒におさめる人、ベテラン社員と多種多様なスピーチに会場が湧いた。

スピーチした会員（敬称略）

古田圭二（大４２・大分銀行）、黒田宇一郎（大６４・豊和銀行）、小林滋（大５２・大分合同新聞社）、渡邊博子（大３６・大分大学）、衞藤秀樹（大２８）岩丸桃子（大６０）板井優貴（大６３）二宮瑠美（大６５）清家優輝（大６７）以上ジェイリース、佐保洋子（大３８・大分朝日放送）、江藤晃彦（大５８・オーイーシー）甲斐信次（大４０・大分カード）、白川憲一（大３１）梶原慧二（大６５）以上大分交通、三浦昌弘（大４９・大分信用金庫）、矢野雅俊（大 61・大分トヨタ自動車）、三浦展裕（大３８・大分放送）、犬山達乃介（大７０・佐伯建設）、小河裕宣（大３３・大宣）、鶴大和（大６２・鶴崎海陸運輸）、池邉強（大２９・テレビ大分）、松川陽樹（大６１・豊後企画集団）、島田裕子（大５７・宮崎銀行）

締めは、テレビ大分代表取締役社長池邉強さん（大２９）、大分合同新聞社の小林滋さんが考案した「シワース！」で締めくくった。「シワース！」は今後の四極会関係の締めで浸透するかもしれません。

参加者の募集にご尽力いただいた職域支部、職域企業幹事の皆様、会場の設営、受付、進行に当たられた大分支部役員の皆様、有難うございました。

以上